

日本ユニシス株式会社

2015年3月期2Q 決算説明会（2014年11月5日開催）

主な質疑応答

（ご理解いただきやすいよう表現を変更している箇所があります。）

【質問者 A】

Q： 下期の売上高見通しについて確認したい。9月末受注残高のうちの今期売上予定分、また、下期に獲得できそうな具体的な案件などがあれば教えてほしい。

A： 9月末受注残高 2,113 億円のうち、今期中の売上計上予定分は約1/3である。今下期の売上高達成に向けて、残りは今後受注を積み上げていく必要がある。足元では製品販売の状況もかなり好転してきており、中小型のメインフレーム案件等も出てきた。

Q： 前期の大型不採算案件は予定通り推移しており、上期で不採算は発生しなかったとのことだが、下期も損失を計上するリスクは小さくなっているのか。

A： 現時点で具体的に見えている案件はないものの、下期の計画にはリスクとして15億円を見通しに織り込んでいる。

Q： 販管費について、上期は前年同期比微減だったが、下期が同11億円増加する見通しになっているのは、余裕があるのか。

A： 引き続きコスト削減に取り組むものの、今期は次期中期経営計画に向けた仕込みの年でもあり、今後の成長に向け、研究開発費や営業支援費などを戦略的に使っていきたいと考えている。

Q： 次期中計の方向性について確認したい。来期は増収増益となるのか。

A： 来期についても当然、増収増益の方向で考えているが、次期中期経営計画は、今年12月に公表予定であり、具体的な説明はその時にさせていただく。

（注）本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

【質問者B】

Q： 前期の反動減の影響を除けば、環境は良くなっているとのことだが、業種別の強弱感を、もう少し教えてほしい。例えば、御社は電力会社向けが強かったと思うが、電力自由化関連で期待できるビジネスはありそうか？

A： 金融、製造、流通業向けが引き続き堅調に推移している。金融に関しては、地銀向け勘定系システム BankVision も稼働行が増え、ご評価いただいているため、積極的にセールス展開している。製造については、前期から回復基調だった自動車向けに加え、それ以外の分野でも案件が増加してきている。流通向けは、導入型ソリューション CoreCenter が好評で、引き合いが強い。

また、電力自由化関連については、当社は電力向けビジネスに知見があることから、大きなビジネスチャンスととらえており、協業等も視野に入れて活動しているところである。

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。